

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	ホッグ		
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和7年12月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和7年12月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月3日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童の障がい特性や、児童の家庭環境に応じて手厚い支援ができています。	人員配置を手厚くし、児童をよく観察すること、また様々な対応を行っています。	児童本人のニーズ、保護者のニーズをより組み入れていきたいと考えています。
2	屋外や屋内の様々なイベントの実施	児童が楽しめること、思い出に残ること、集団活動に取り組みることなどを念頭に計画しています。	イベントのバリエーションがより増えるように検討していきます。
3	支援計画において児童の特性に応じてよく検討されていること。	児童の日々の様子について記録し、定期的に取り組むアセスメント、支援計画に反映させるようにしています。	より専門性の知識やスキルでより良い支援計画を策定できるよう取り組んでいます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の支援スキルや人間性の成長のための研修等の機会や実施時間の確保。	職員の職位や経験年数などにより必要な研修が違い、有効な研修を探すことが難しいため。	事業所内での研修や勉強会、外部研修など多角的に検討していきます。
2	職員数が多いこともあり、情報共有や支援スキルに差が出てしまう。	勤務日数に差があり共有レベルが違うため。	業務開始時や終了時のコミュニケーションレベルを上げること、ミーティング内容に工夫していきます。
3	専門性や何かに特化した特徴をもっていない事業所としているところ。	専門性の資格所持者がいないこともあるが、個々のニーズを分析しその時点での最善な支援をしているため、事業所として特化した専門性にはなっていないため。	有資格者の配置や専門的なスキルを学ぶ機会を設ける検討をしていきます。

## 公表 保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名 ホッグ

公表日 2026年 2月 3日

利用児童数 2

回収数 1

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1	0	0	0	広いスペースにて各児童が快適に過ごせる備品配置などに配慮しています
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	1	0	0	0	児童の特性や性別に応じて配置しています
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1	0	0	0	静養室や玄関部分に物理的に解消出来ない段差が一部ありますが、事故の無いよう工夫しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	1	0	0	0	快適に過ごせるよう掃除の徹底をし、チェック表を用いて取り組んでいます。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1	0	0	0	児童の特性に応じて支援内容に合理的配慮も加えながらを支援をしています
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1	0	0	0	事業所の方針や計画に沿った支援に努めています
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1	0	0	0	職員間で計画を共有し結果についても話し合い作成に繋げています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1	0	0	0	5領域を組み合わせ支援計画とし児童それぞれに合わせた支援計画としています
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1	0	0	0	支援計画の目標を中心に支援を行っています
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1	0	0	0	児童の特性に合わせて楽しく飽きないよう考慮しています
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1	0	0	0	定期的高齢者施設に訪問イベント参加をしています。また公園にて地域の子ども達と遊ぶことがあります。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1	0	0	0	保護者のニーズを確認し丁寧な説明を心がけています
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1	0	0	0	定期的支援計画の更新をし、その際にはモニタリングと新しい支援についてご説明しています
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	0	0	0	他機関連携をしながら助言するようにしています
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	1	0	0	0	日々の子どもの変化を共有しており、最善の支援方法について考えられています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1	0	0	0	随時ご相談に応じて助言するようにしております
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1	0	0	0	保護者様や児童のニーズを把握し共感が得られるように支援するようにしています
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	0	0	0	現在父母の会等を実施はしておりません、連携については配慮してまいります	
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1	0	0	0	相談やご意見を伝えられた際は、職員間で対応方法を検討しています	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1	0	0	0	必要に応じて様々なツールや手段にて伝達するようにしています
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1	0	0	0	ホームページにて評価掲載しております
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1	0	0	0	個人情報のシュレッター廃棄を基本に十分に注意し取り扱っております
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1	0	0	0	各種マニュアルを整備し、定期的に様々な事態を想定し訓練を実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1	0	0	0	消防署での訓練や警察署職員の方に講師に来ていただき、協力のもと訓練を行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1	0	0	0	各種訓練や備品の安全確認など安全計画に基づいて毎月実施事項を決め実施しています
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1	0	0	0	速やかに連絡するようにしています
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	1	0	0	0	様々な訓練や安全確認により安心できる空間に出来るよう努めています
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	1	0	0	0	様々なイベント実施など楽しみながら学べることを目標に支援しています
	29	事業所の支援に満足していますか。	1	0	0	0	できることを増やし、また強みを伸ばせるよう支援するようにしています

公表	児童発達支援事業所における自己評価結果
----	---------------------

事業所名	ホッグ		公表日 2026年 2月 3日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	0	広いスペースにて各児童が快適に過ごせる備品配置などに配慮しています	より快適に過ごせるよう備品配置の変更や、備品の更新などに配慮していきます
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11	0	児童の特性や性別に応じて配置しています	性別に応じた配置をバランスよく出来るようにすることが課題としています
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	0	分かりやすくイラストなどを用いて構造的に配慮しています	静養室や玄関部分に物理的に解消出来ない段差が一部あります
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	0	快適に過ごせるよう掃除の徹底をし、チェック表を用いて取り組んでいます。	児童によって必要な備品や遊具など随時追加していきます
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	0	静養室を必要に応じて使用できるようにしています	複数の利用希望があった場合などの利用基準や配慮すべき点を精査していきます
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	11	0	職員間で計画を共有し結果についても話し合っています	勤務数の少ない職員への共有度を上げることが課題としています
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1	毎年実施しており改善に繋げるようにしています	様々なニーズを把握は今後も注力してまいります
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	自己評価の対象は全従業員とし、面談は定期的に行っています	勤務数の少ない職員の意見把握に課題があります
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	4	現時点では第三者評価を導入していません	今後も引き続き検討してまいります
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	0	虐待研修など各種研修を実施しています	今後は外部研修等の開催情報の収集にも努めていきます
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	0	ホームページにて公表しています	今後も見直しや改善を進めていきます
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	11	0	定期的にかつ細かくアセスメントを取り計画に反映しています	今後も継続してまいります
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	0	日々の子どもの変化を共有しており、最善の支援方法について考えられています。	学校や家庭での過ごし方や方向性を把握すること、連携することの今後を念頭に努めていきます。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	0	支援計画を中心に支援しています	職員により計画の理解度にバラつきがあり、目標の進捗と振り返りに今後とも努めます
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	0	定期的に取りアセスメントツールに修正が必要かどうかを常に考えています	今後も継続してまいります
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	0	児童それぞれに応じて5領域を組み合わせ支援計画とし支援しています	児童により様々な課題がありますが、必要な支援を今後も反映させるよう検討してまいります
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	1	各職員の案を持ち寄り計画しています	画一的でなく多様なプログラムとなるよう努めていきます
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	0	様々なイベント実施など楽しみながら学べることを目標に支援しています	今後も児童の特性に応じて工夫していきます

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	11	0	子ども同士の関わりの中で、必要な支援は何かを具体的に考えています	今後も活動内容により児童に合わせた合理的な配慮を取り入れてまいります
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	0	子どもの様子を共有し、注意することはないか確認をしています。	職員間での共有レベルに差があり、優先度に応じて共有していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	0	職員全員で話し合う時間が設けられています	今後も限られた時間の中で共有するように改善してまいります
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	0	業務日誌、記録用紙と日々の児童の関しての記録をとっています。	振り返りが出来るよう見やすくファイルにまとめています
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	0	定期的に実施し見直しをしております	モニタリングや検証の精度や考えをより向上させていきます
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	1	担当職員が参加し児童や家庭での様子を含めて把握し支援に繋げています	今後も引き続き務めてまいります
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	0	児童に応じて関係機関と相互連携しています	今後も関係機関とよく連携し支援してまいります
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	0	利用時の様子を確認するため児童の在籍している保育園との連携や情報共有はできていると思います。現在は他の児童施設との活動機会がありません	定期的に地域の高齢者施設に訪問しイベント参加をしており、今後も継続していきます
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	0	必要に応じて連携しています	今後も相談支援員とともに連携してまいります
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	10	1	児童により事業所での過ごし方について専門機関からのスーパーバイズを受けており、その分析やご指摘を参考に支援に生かしています	スーパーバイズを受ける頻度を高めたいが、その機会獲得にまだまだ至っていない
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	5	地域の子どもと公園で遊ぶことがあります	インクルージョンの観点から定期的に高齢者施設に訪問しイベント参加をしており、今後も継続していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11	0	日々の活動について課題を含めて伝えるようにしています	家庭や学校での様子をより把握し支援に繋げるようにしていきます
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	3	他機関連携をしながら助言するようにしています	今後も関係機関との連携を強く対応力の向上を図っていきます	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0	保護者のニーズを確認し丁寧な説明を心がけています	今後も引き続き務めてまいります
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0	計画作成にあたっては日々接している中での児童の要望、また保護者の方のニーズを把握するようにしています	家庭環境や児童の特性によって児童の最善の利益が何かを念頭にし支援に努めていきます
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	11	0	支援計画の更新の際にはモニタリングと新しい支援について丁寧に説明しています	児童の障がい特性や置かれている環境により計画の修正などについても注力していきます
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	0	定期的にはなく随時ニーズや困りごとを把握するようにし支援を行っています	事業所における支援だけでなく外部機関に繋ぐ必要を感じる場面もあり、他期間との連携を強化する必要があると感じています

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	8	現在父母の会等を実施はしておりません、連携については配慮しています	現在は保護者会等は設けていません。今後も課題といたします
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0	お問い合わせには迅速に対応するよう心掛けています	事業所内の連絡体制の整備にも注力していきます
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	11	0	毎月イベント予定等のお知らせを発行しています	イベント等だけでなく様々な情報の提供を検討してまいります
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0	個人情報のシュレッダー廃棄を基本に十分に注意し取り扱っております	職員間での差のないよう今後も引き続き務めてまいります
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0	保護者様に応じて様々なツールを使用しています	今後もご家庭のニーズに応じて様々な伝達手段を取り入れていきます
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	7	現在のところ事業所への招待等は行っておりません	地域の高齢者施設への定期的な訪問を行っており今後も継続していきます
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	0	各種マニュアルを整備し定期的に各種訓練を行っています	周知方法については改善に努めてまいります
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	0	消防署での訓練や警察署職員の方に講師に来ていただき、協力のもと訓練を行っています。	様々な有事を想定し訓練実施してまいります
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	11	0	事前に既往歴をはじめてんかん等についても確認し、対応についても確認しています。	感染症やてんかん発作の研修を行ってまいります
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	0	事前にアレルギーの有無についても確認し注意をしております	今後も引き続き把握に努めてまいります
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	0	安全計画に基づいて毎月実施事項を決め実施しています	様々な有事を想定し訓練実施してまいります
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	0	安全計画に基づいて環境整備を実施し安心できる空間に出来るよう努めています	実施後の周知についてはご家庭により差があり、周知方法について検討してまいります
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	0	気づいたレベルでも記載するようにし、誰でも閲覧できるようにしています	再発防止の記載を新たに設けました。今後もわかりやすい内容にすべく改善してまいります
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0	定期的に虐待研修など各種研修を実施している	研修や事業所内の勉強会にてキャリアの少ない職員にもわかりやすい内容に改善していきます	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	11	0	どのような際に対象となるのかなど、児童の支援計画に入れ、かつ保護者への説明を行っています	児童の行動障がいの分析を詳しく行い行動障がいを減らせるように取り組んでいきます	